

横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会

第4回 検討委員会

と き 令和2年8月21日（金）

午後7時から

ところ 横手市役所本庁舎5階

第2、第3委員会室

次 第

1. 開会

2. 案件

(1) 長寿命化の方向性について… 資料1

(2) 委員会としての意見の取りまとめ方について … 資料2、資料3

(3) 提言書（案）について… 資料4

(4) 長寿命化する施設のあり方について … 資料5

(5) その他

3. 閉会

長寿命化の方向性について

検討過程の基本となる再編方針検討のロードマップでは、委員会としての方向性が「長寿命化」となった場合には、「建て替え」または「大規模改修」の方向性についての検討に入ります。

この部分は、老朽化や改修の度合い、費用、現在抱える課題を解決できるかどうかなどの視点が重要となるため、専門的な視点で施設を確認した上で、建て替えるべきか、現施設を大規模改修すべきかを選択することとなります。

(③再編の方向性)

長寿・維持・廃止

(④長寿命化の方向性の検討)

専門的な視点で確認・選択

委員会としての方向性

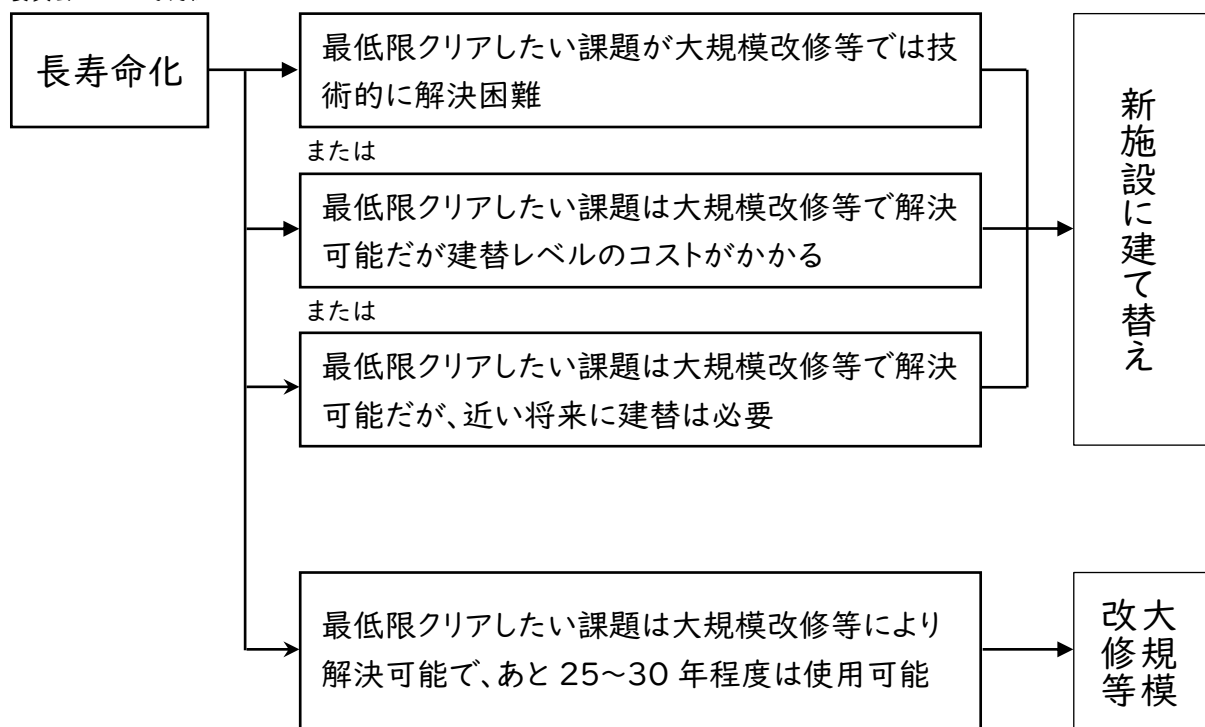
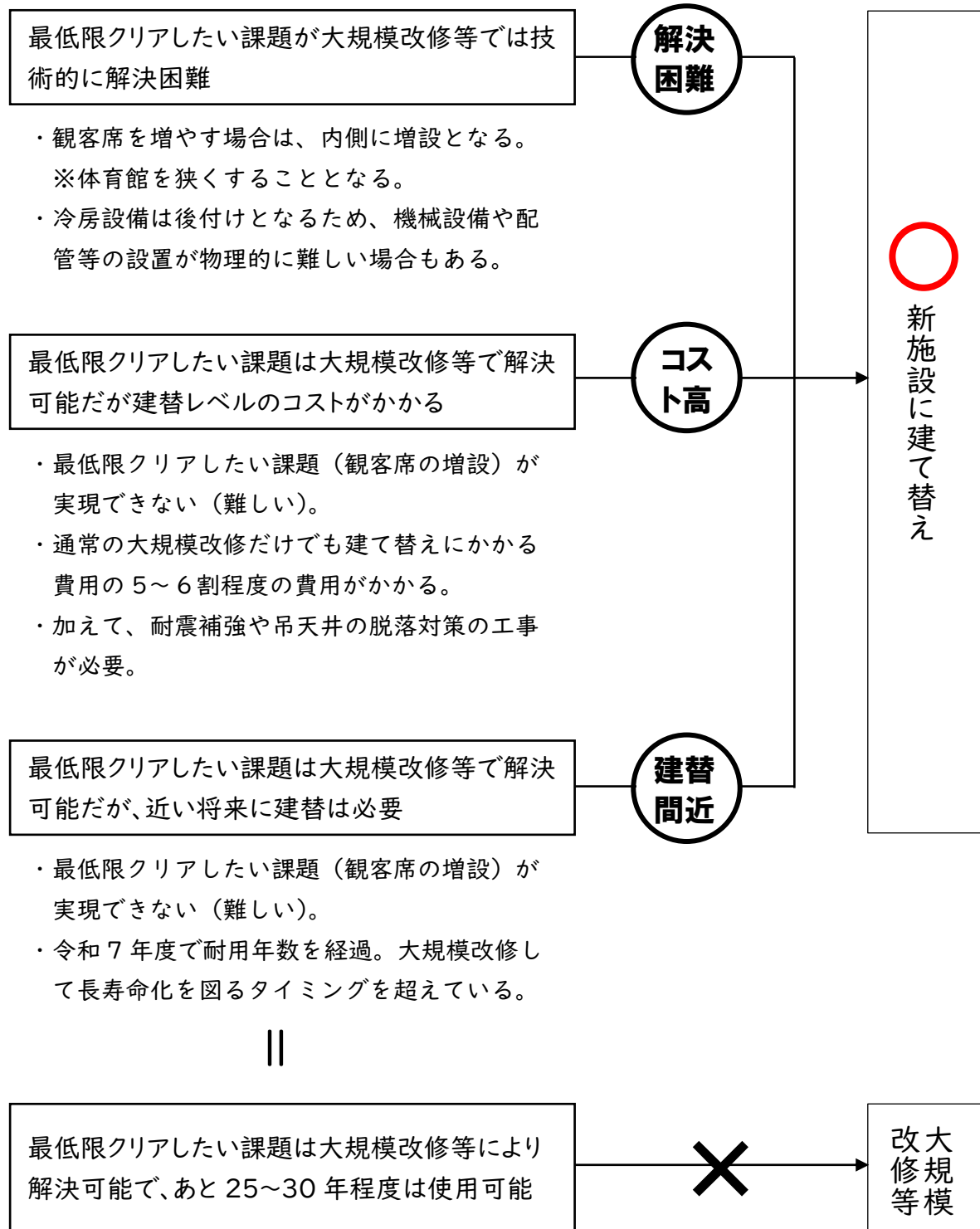


図 公共施設再編方針検討のロードマップ（抜粋）

横手体育館（建築から42年目、耐用年数47年）

【最低限クリアしたい課題】

- ① 観客席が圧倒的に不足している。
- ② 冷房設備がない。





大体育室

- ・ 1,512 m²でバスケット 2 面
200 m²以上で天井高 6m超
→ 特定天井
- ・ 観客席を外側に増やせない
- ・ 観客席を増やす場合は、内側に体育館を狭くして設置することとなり機能が著しく損なわれる
- ・ 冷房設備がない



大体育室

- ・ 吊ボルトで天井を吊っている
- ・ 脱落対策の工事が必要



中体育室

- ・ 448 m²でバスケット 1 面
200 m²以上で天井高 6m超
→ 特定天井
- ・ 天井を吊っている
- ・ 脱落対策の工事が必要
- ・ 冷房設備がない

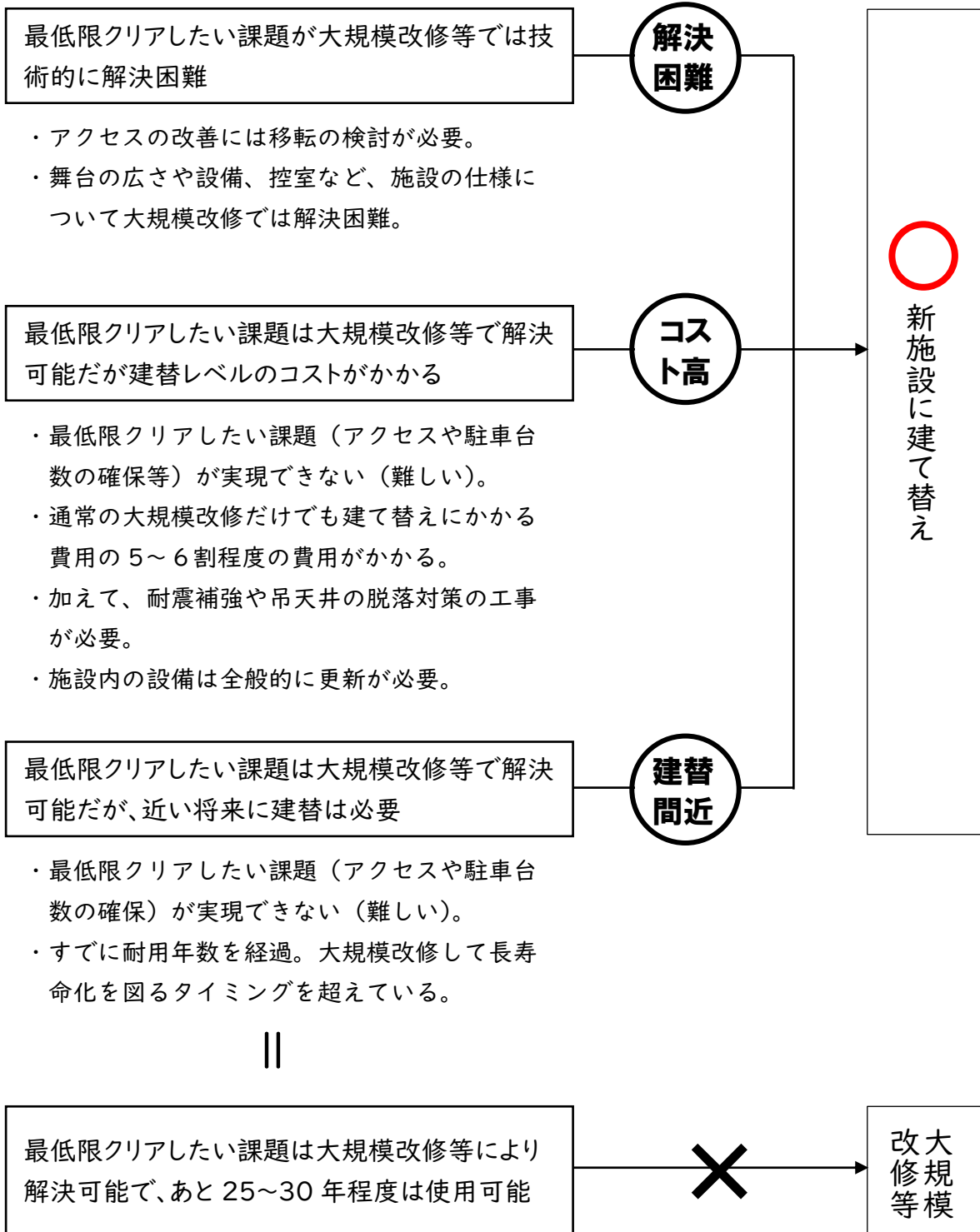
その他

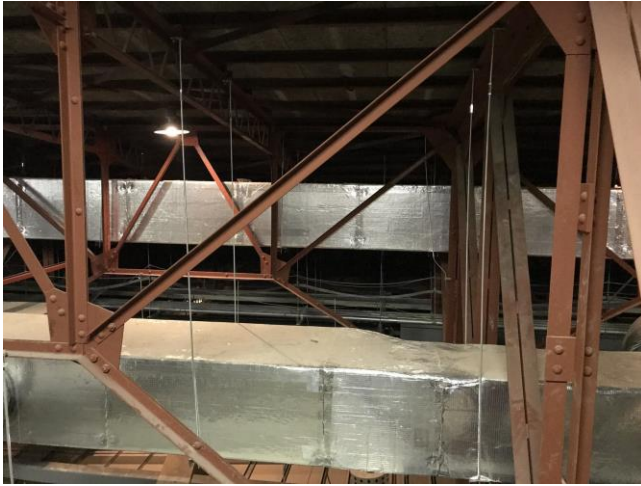
- ・ エントランスの吹き抜けも特定天井に該当する場合は改修が必要。
- ・ 屋根の防水シートの劣化が認められる。
- ・ 電気設備、機械設備、衛生設備、フローリング床等も老朽化が進んでいる。
- ・ 感染症対策の観点からも湿式トイレから乾式トイレへの変更が必要。

横手市民会館（建築から 52 年目、耐用年数 50 年）

【最低限クリアしたい課題】

- ① アクセスが悪く、駐車場も狭い。
- ② 舞台の広さや設備、控室など、施設の仕様が古く使いにくい。





ホール

- ・ 1,045 m²で 928 席
- ・ 200 m²以上で天井高 6m超
→ 特定天井
- ・ 吊ボルトで天井を吊っている
- ・ ※この改修だけで 4 億円以上
- ・ 空調ダクトが天井内にあり
- ・ 屋根を支える鉄骨が細く、深い積雪に耐えられない
- ・ ※雪下ろしが必要



エントランス天井（2階）

- ・ 漏水によるシミ



外部天井

- ・ 天井が破損し、落下の危険あり

その他

- ・ 屋上や屋根の劣化状況を確認の上、対策が必要である。
- ・ 外壁の劣化や破損、外構の破損が多く見受けられる。
- ・ 雨水処理の配管のつまりが原因とみられる外構の地盤の膨れが確認された。
- ・ 感染症対策の観点からも湿式トイレから乾式トイレへの変更が必要。

【1 横手体育館】第2回及び第3回 市民検討委員会（グループワーク）での意見

各区分の数字は、第3回 市民検討委員会時の集計。（委員数35名、欠席5名で出席者30名。うち委員長を除く29名の意見を集計） 朱書きは第3回で加えられた意見。

区分 (③ 再編の方向性に関すること)	① 利用状況や施設の課題等に関すること	② 広域的な視点に関すること	④ 長寿命化の方向性に関すること (建て替えか大規模改修か)	【基本構想・基本計画】 具体的な仕様に関すること
<p>長寿命化 29</p>	<p>【利用状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で最も利用者数の多い体育館。 ・今後も一定の利用者数が見込める。 ・健康維持のためにも必要な施設。 ・高齢者にも多く利用されている。 ・横手地域は極端に人口減とはならないのでは。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席数が全く必要数に足りていない。 ・入場制限して開催している大会もある。 →潜在的な利用者が多い。 ・「するスポーツ」が主だったころの施設。 ・「見る」「応援する」に対応できていない。 ・規模が小さい ・冷暖房設備がない。 ・耐震性がなく老朽化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常利用が多く、他施設への振替はなじまない。 ・他の施設もたくさん利用者がいる。 →横手体育館の需要を満たせない。 →類似施設であっても代替施設に出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性がなく老朽化している。 ・改修しても長く使えないため建て替えるべき。 ・赤坂総合公園内に新築すべき。 ・建て替えが必要。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済効果の面で、体育館→ホール→プールの順。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな大会やイベントを誘致できるような施設。 ・稼働率の向上や市内の活性化（経済波及効果）につながる施設。 ・避難場所としての機能（広いスペース）。 ・県南の中核的な施設。 ・道路を渡らなくても良い駐車場を整備。 ・冷暖房設備が必要。 ・多目的な体育館。 ・メインアリーナを大きくしてほしい。 ・きちんとした選手控室。 ・現在の横手体育館の立地条件は良い。 ・交通アクセスを考慮。 ・高校生はスポーツジムや運動施設がほしい。 ・高齢者や社会人が気軽に使える施設。 ・建て替えるとすれば市の中心部に。 ・維持費を抑えられる工夫を。 ・建て替え中も現施設を使えるような配慮を。 ・横手地域に限らず広い平場でアクセスの良い場所。 →人口や他施設の配置から横手地域が望ましい。 ・観客席を大幅に増やす。 ・「見る」「応援する（支える）」スポーツも大切。 ・換気や座席を含め、感染症等への対応。
<p>維持 0</p>				
<p>廃止 0</p>				

【2 横手市民会館】第2回及び第3回 市民検討委員会（グループワーク）での意見

2020.8.21 第4回 横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会

資料2

各区分の数字は、第3回 市民検討委員会時の集計。（委員数35名、欠席5名で出席者30名。うち委員長を除く29名の意見を集計） 朱書きは第3回で加えられた意見。

区分 (③ 再編の方向性に関すること)	① 利用状況や施設の課題等に関すること	② 広域的な視点に関すること	④ 長寿命化の方向性に関すること (建て替えか大規模改修か)	【基本構想・基本計画】 具体的な仕様に関すること
<p>長寿命化 26</p>	<p>【利用状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの利用者がいる。 今後も一定の利用者数が見込める。 利用者減は、施設機能が良くないため。 高齢者に優しくない。 市の文化の拠点 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセスが悪い。 冬は雪の坂道となり危険。 駐車場が狭い。（足りない） 観客席が少なくコンサートが呼べない。 耐震性がなく老朽化している。 エレベーターがない。 ステージ（舞台）が狭い。 音響が悪い。 控室がしっかりしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的にイベントを開くところなくなる。 →イベント等を行う施設として絶対に必要 秋田ふるさと村とは使われ方に違いあり。 →類似施設とはならない。 →ドーム劇場を借りられるとは限らない。 →料金が高い。 他市町村の施設もある程度老朽化している。 →将来、横手市に人が集まってくる流れ。 	<ul style="list-style-type: none"> 別の場所に建て替え。 体育館と市民会館が兼用できる施設。 体育館と市民会館を一体的に建て替え。 記念グラウンドに建て替え、現地を駐車場に。 クラウドファンディングを活用した建て替え。 	<ul style="list-style-type: none"> 客席数を増やす。 ステージ（舞台）を広く。 旧市内にないと不便。 記念グラウンドを駐車場にしてはどうか。 きちんとした控室。 音響に配慮。 駐車場の確保。 横手全体が元気になるような施設。 幅広い世代に楽しんでもらえ、人を呼べる施設。 ドーム劇場の立地は良い。 文化的な面でもまちを活気づけていきたい。 将来的にも市が所有すべき施設。 建て替え中も現施設を使えるような配慮を。 体育館ではできない様々な催しがある。 体育館も市民会館も同じ敷地に作ってほしい。
<p>維持 3</p>	<p>【利用状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現施設をぎりぎりまで使用した方が良い。 駐車場が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> 大曲市民会館や湯沢文化会館を使わせてもらう。 お金は使う方に回すべき。 かまくら館、ふるさと村、まんが美術館がある。 体育館でも吹奏楽等を行えるのではないか。 		
<p>廃止 0</p>				

【3 大鳥公園プール】第2回及び第3回 市民検討委員会（グループワーク）での意見

2020.8.21 第4回 横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会

資料2

各区分の数字は、第3回 市民検討委員会時の集計。（委員数35名、欠席5名で出席者30名。うち委員長を除く29名の意見を集計） 朱書きは第3回で加えられた意見。

区分 (③ 再編の方向性に関すること)	① 利用状況や施設の課題等に関すること	② 広域的な視点に関すること	④ 長寿命化の方向性に関すること (建て替えか大規模改修か)	【基本構想・基本計画】 具体的な仕様に関すること
長寿命化 2	【利用状況等】 ・周辺自治体から人を呼び寄せるツール。 ・高校生はプールがあれば良いと思っている。 ・健康増進施設としての機能がある。		・建て替え	・屋内温水プール。 ・体育館に併設。
維持 0				
廃止 27	【利用状況等】 ・どれだけの人が利用するか疑問。 ・夏だけの利用で、使う人が限られている。 ・学校教育では各小学校にプールがある。 ・屋外プールは厳しい ・多くの利用者は見込めない 【課題】 ・漏水により休止中。 ・遺跡内にある。 ・現地での建て替えや大規模改修ができない。	・平鹿中学校で水泳大会を開催している。 →ただし、観客席が少ないという課題あり →平鹿中学校プールの仮設席の対応検討を。 ・市内に50mプールも25mプールも他にある。 →ただし、子ども用プールはほしい。 →市内外の他の施設を利用している。 ・大人は民間の温水プールへ行けば良い。 →民間プールの料金を割引できないか。 ・小さい子どもはエリアやザブーンに連れていく。	(廃止の理由) ・建替えや大規模改修ではコストが高い。 ・年1回の大会に多額のお金をかけるべきではない。 ・予算と利用者の状況をみると不要。 ・利用者1人あたりにかかるコストが高い。 ・「あればいいな」くらいの必要性。 ・民間プールをもっと活用すべき ・雪国に、そこまで必要な施設ではない。 ・屋内温水プールは非常にコストが高い。 (その他) ・新しく学校を建設する際に、市民プールとしても使えるように整備すべきだった。	

委員会としての意見の取りまとめ方

委員会としての意見を答申書（案）に取りまとめるにあたっては、再編方針検討のロードマップに基づき、次のように整理をします。

今回の資料 2 で分類した意見を「再編の方向性を判断したポイント」として記載し、資料 1 で選択した「長寿命化の方向性」とともにまとめます。

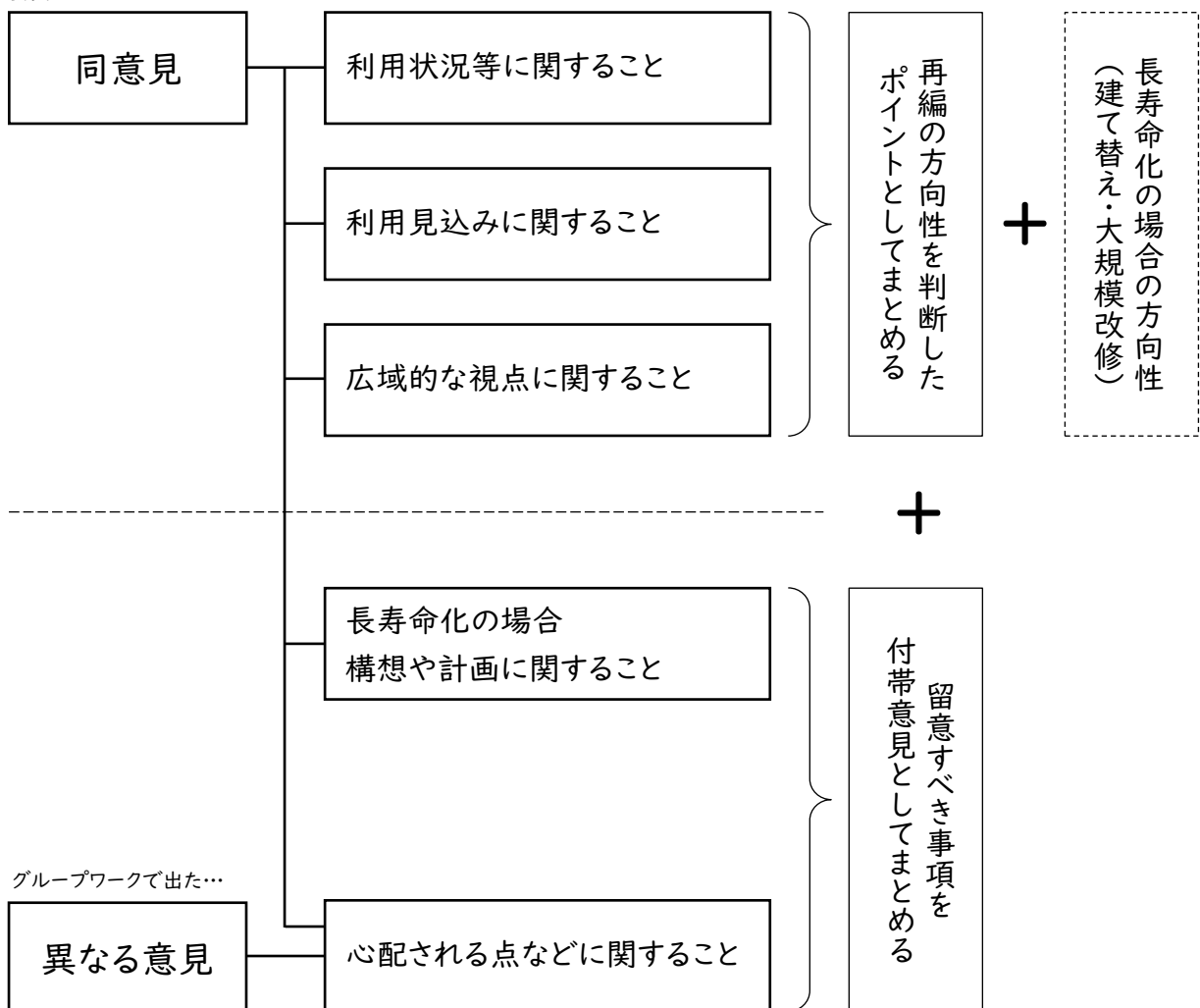
また、具体的な施設のあり方や、委員会としての方向性と異なる意見として出された意見についても、留意すべき事項として「付帯意見」という形で記載し、次のステップに引き継ぎます。

(再編の方向性)

(その判断に至った主なポイント)

長寿・維持・廃止

委員会としての方向性と…



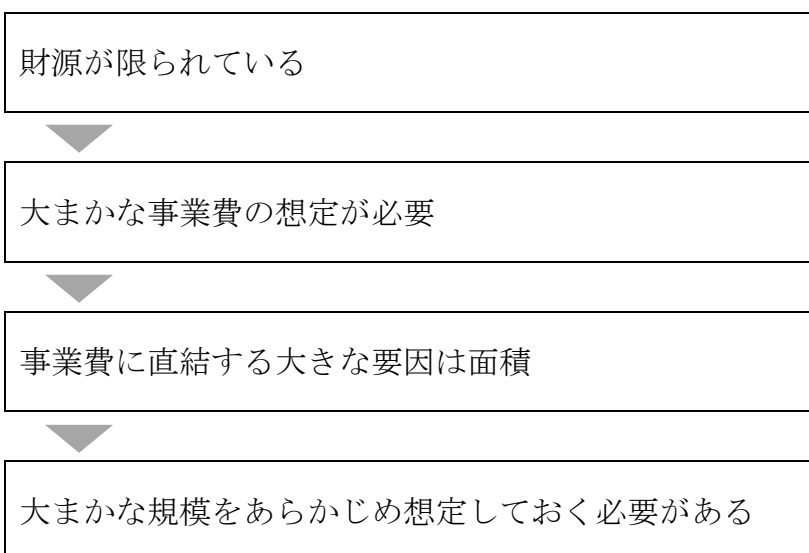
この資料は、本委員会が現時点で何かを決めるための資料ではありません。今後、具体的な内容の検討を行う際に、このような視点を含めて議論をする必要があるという情報を例示し、課題を共有するための参考資料です。施設規模のパターンも、あくまでも例示であり、この中から選ぶという趣旨ではありません。

資料 5

長寿命化する施設のあり方について

施設の具体的な規模や仕様などは、基本構想や基本計画策定の段階での議論となりますが、限られた財源や立地の問題、両施設の一体的な整備の可能性など、両施設に共通する課題があります。

特に、施設の規模については、財源や配置に大きく関連することから、個別の検討に入る前に、委員会としての一定の考え方を可能な範囲でまとめ、付帯意見として提言の中に盛り込みたいと考えています。



(参考) 横手体育館と横手市民会館の主要室の稼働率

施設名	室名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
横手体育館	大体育室	92.6%	93.2%	89.4%
	中体育室	88.3%	89.9%	93.4%
	小体育室	79.3%	83.4%	85.1%
横手市民会館	ホール	39.9%	43.6%	40.6%

横手体育館

体育館の面積は、観客席の数、競技床の広さ、付随する諸室に左右される。

① 観客席の数について

3つの視点からの算出例)

- ① 中央にコートを1面設置した状態で3,000席以上
- ② うち2階の固定席に1,500～2,000席程度

【プロスポーツの興行の視点 その1】… 全体で最低2,000席以上

(参考) Bリーグ規約 第30条

(2) B1クラブがホームアリーナ以外のアリーナで公式試合を実施する場合には、当該アリーナは原則として入場可能者数が2,000人以上でなければならない。(略)

【プロスポーツの興行の視点 その2】… 全体で3,000席以上

(参考) 秋田ノーザンハピネッツの入場者実績

- 2017-2018 シーズン 県内平均2,897人
- ホームである秋田市以外では2,000～2,500人程度で、3,000人を超えることはなかった。
- しかし、秋田市以外の会場は収容人数や交通アクセスなどが大きく影響しているため、県内平均2,897人に対応可能な3,000席以上を提案。

【各種大会開催の視点】… 2階の固定席に1,500～2,000席程度

- 2階の観客席は、実情として選手や応援者の待機場所を兼ねている。
- 現・横手体育館は336席で、来場制限を行っている大会もある。
- 荷物を置くスペースや、チームごとに区切ったの使用、感染症対策などの関係から、少し余裕を持った配置が求められる。
- 大会の開催時間中は、選手や応援者が頻繁に移動するため、各列の間隔には一定の配慮が必要。

② コートの面積について

- 現在の競技床の広さは、次のとおり。

大体育室：バスケットボールコート 2 面

中体育室：バスケットボールコート 1 面

- メインとなる競技床の広さにより、大きく 3 通り考えられる。

	パターン①	パターン②-1	パターン②-2	パターン③
全体	バスケ 3 面	バスケ 4 面		バスケ 5 面
メイン	バスケ 2 面	バスケ 3 面	バスケ 2 面	バスケ 4 面
サブ	バスケ 1 面	バスケ 1 面	バスケ 2 面	バスケ 1 面
事例	横手体育館、 むつマエダアリーナ	Zアリーナ(奥州市)、 よつ葉アリーナ十勝	早見公園体育文 化センター(都城市)	ナイスアリーナ、 グランディ 21(宮城)
目安	8000～10000 m ²	10000～12000 m ²		12000～14000 m ²
費用	44～55 億	55～66 億		66～77 億

※一般的に、メインの競技床に多くの観客席を配置し、サブは抑え目。

※「目安」は、一定の観客席を備えた場合の想定面積。事例の施設の面積ではない。

※「費用」は、各面積に平米あたり 55 万円を乗じた額。第 2 回の「[当日資料 1](#)」では 50 万円
で想定していたが、今回は 5 万円増しで算出。

③ 付随する諸室について

- 現在の横手体育館には、事務室や保健室、トイレなど、一般的な諸室を除くと、2階に小体育室と格技場がある。他市町村の体育館では、トレーニング室や会議室、キッズルームなど、施設の目的に応じた諸室が配置されている。

この資料は、本委員会が現時点で何かを決めるための資料ではありません。今後、具体的な内容の検討を行う際に、このような視点を含めて議論をする必要があるという情報を例示し、課題を共有するための参考資料です。施設規模のパターンも、あくまでも例示であり、この中から選ぶという趣旨ではありません。

横手市民会館

市民ホールの面積は、舞台や控室の広さ、観客席の数、小ホールの有無、付随する諸室に左右される。特に、付随する諸室は施設によって大きく異なるため、ホールのあり方を主軸として、代表的なパターンを例示する。

○ 現状を基本とした3パターン

	パターン①	パターン②	パターン③
大ホール	約 1,000 席	約 1,000 席	約 1200 席
小ホール	なし	約 200 席	約 400 席
事例	横手市民会館 (3,182 m ²)	しこちゅ〜ホール (6,044 m ²)	湯沢文化会館 (5,970 m ²)
目安	3500~4500 m ²	4500~5500 m ²	5500~6500 m ²
費用	25.4~31.5 億	31.5~38.5 億	38.5~45.5 億

※「目安」は、一定の観客席を備えた場合の想定面積。事例の施設の面積ではない。

※「費用」は、各面積に平米あたり 70 万円を乗じた額。第 2 回の「[当日資料 1](#)」では 65 万円
で想定していたが、今回は 5 万円増しで算出。

両施設の規模と費用のバランス

	パターン①	パターン②	パターン③
横手体育館	全体でバスケ 3 面 8,000~10,000 m ² 44~55 億円	全体でバスケ 4 面 10,000~12,000 m ² 55~66 億円	全体でバスケ 5 面 12,000~14,000 m ² 66~77 億円
横手市民会館	大ホール：1000 席 小ホール：なし 3,500~4,500 m ² 25.4~31.5 億円	大ホール：1000 席 小ホール：200 席 4,500~5,500 m ² 31.5~38.5 億円	大ホール：1200 席 小ホール：400 席 5,500~6,500 m ² 38.5~45.5 億円
	パターン①	パターン②	パターン③